

一般社団法人日本損害保険協会 九州・沖縄支部

## 沖縄県警察に交通安全啓発チラシ・ポスターを贈呈

～飲酒運転根絶と交差点での事故防止に向け注意喚起～

日本損害保険協会沖縄損保会（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、飲酒の機会が増える年末年始に飲酒運転根絶を呼びかけること、事故多発交差点を通行する際はより安全確認することを啓発するため、チラシ・ポスター（飲酒運転根絶：ポスター200枚 チラシ4万枚、事故多発交差点注意喚起：ポスター200枚 チラシ2万枚）を作成し、12月22日（月）に沖縄県警察本部に贈呈しました。

沖縄県では、2024年における全人身事故に占める飲酒絡みの事故の構成率は全国ワーストとなりました。これは4年連続の全国ワーストであり、地域課題となっています。また、人身事故の半数以上は交差点とその付近で発生しており、交通事故を減少させるためには、県民に交差点通行時の注意喚起を呼びかけることが重要です。

沖縄県警察本部で開催された贈呈式では、チラシ・ポスターを贈呈した後、当損保会 山里会長から「飲酒運転根絶および交通事故多発交差点の注意喚起の観点からそれぞれチラシ・ポスターを作成した。交通事故のない安心・安全なまちづくりにご活用いただきたい。」と挨拶がありました。その後、沖縄県警察本部 山内 敏雄 交通部長から「今回贈呈いただいたチラシ・ポスターは内容がわかりやすく、県民への注意喚起に大変有効であると考えている。各警察署等に配布し、飲酒運転根絶や交通事故防止に向けた啓発活動に役立てていく。」と謝辞がありました。

沖縄損保会では、引き続き、県警等との協力関係を深めながら、飲酒運転根絶や交通事故多発交差点の注意喚起活動をはじめとする交通安全啓発活動に取り組んでいきます。



記念撮影1



記念撮影2